

三国丘サッカークラブ 2019 年度総会

日時：2019 年 5 月 25 日(土)14：00 より 場所：三丘同窓会館 2 階会議室

第 1 号議案

平成 30 年度 三国丘サッカークラブ事業遂行結果 (2019 年 3 月 31 日終了)

『方針』

- ◎ 1. 創部 100 周年記念事業プロジェクトの宿題遂行に向け OB の力を結集
 - 1-1. 100 周年記念事業「現役強化基金」の実運用プロジェクトの実践(現役強化)
 - 2. 三国丘サッカークラブの活動指針案の作成 (例、NPO 法人化、分科委員会設置)
 - ※1-1；運用開始し、春秋の大会で連続ベスト 32。川淵基金(仮称)設立・運用へ!!!
 - 2：NPO 法人化を打合せするも現状困難を認識。下記第 3 項に合わせ新体制確立へ

★主な事業内容；

- 1. 平成 30 年度 OB 会総会の開催 (※1 月 2 日 13：30～15：00 開催)
- 2. 新年初蹴り (※1 月 2 日：9：00～13：00 実施)
- 3. 現役チームの強化策の企画・立案 (長期計画含めて検討) (方針に重複)
(案)プロジェクト委員会 (会長諮問委員会を結成し、具体的展開を図る)
- 4. 泉陽高校との定期戦 (第 25 回川淵杯) の実施 (三国丘 SC 主催)
 - ※8 月 12 日 (日) 15-19 時で実施 (J-グリーン堺 S-7,F-1) (結果：三国丘 0-2 泉陽)
 - ※高円宮杯 U-18・の後期 4 部上位リーグで対戦、1-0 で雪辱し、昇格に繋ぐ。
- 5. 天王寺高校サッカー部現役・OB の定期交流戦開催(三国丘 SC 主催⇒天王寺側で調整)
 - ※現役は「大阪高校総体 兼 選手権大阪大会」の 2 回戦で対戦し、1-0 で勝利
 - ※OB 戦・懇親会を平成 31 年 3 月 3 日に、現役戦は同 30 日開催(1-1PK 戦で敗戦)
- 6. 三国丘サッカークラブの HP の活用充実化を図る (継続課題)
<https://mikunifc.jimdo.com/> ⇔※保護者会の協力得て、現役の試合情報を迅速掲載!!!
- 7. OB チーム：三国丘サッカークラブの支援
 - ※堺社会人リーグ(1 部) と大阪市社会人 1 部リーグに参加。
<http://www.sakai-su.net/> (※堺：1 部 2 位と過去最高位。新大会：シブキカップ 準優勝)
- 8. 三丘体育会行事への参加 (他クラブとの親睦、交流ほか) (小孫副会長他役員選出)
 - ①三丘体育会ゴルフコンペ；平成 30 年 5 月 17 日(木)天野山 CC で開催、※参加
 - ②三丘体育会運動会への参加(10 月 21 日開催)
 - ※現役の選手権大阪予選 5 回戦と日程重なりサッカー部は運動会不参加。懇親会参加
- 9. 三国丘サッカークラブ通信の継続発行 (2 回/年、※6 月、12 月の 2 回発行済)
- 10. その他、会員相互交流活性化活動と定着化(若返りと継続組織への強化を図る)
 - ①サッカー部 OB 会ゴルフコンペの開催 (最低 1 回/年) ---※H29,30 年度未実施
 - ②学年幹事と同学年間再交流の促進支援と、学年幹事と役員間交流の促進
※学年リーダーを 10 年間隔で区切って、4 回開催。参加者増と継続開催課題。
- 11. 三丘サッカー東京の主要活動への参画
 - ①三丘サッカー東京総会(第 11 回)：※11 月 2 日(金)：JFA で開催、米田新会長就任!!!
 - ②シニア交流試合 (不定期；天王寺高校 OB 会、京大 OB 会(男組) ほか)
- 12. 今後の検討課題：
 - i) 三国丘 SC 会則の適宜最新化と幹事会メンバー見直し、若返り更新 (※山内幹事)
 - ii) 現役保護者会との連携強化、現役強化に向けた支援強化を図る。

※幹事会メンバー：山内幹事 (46 回) 参画 (三丘サッカー東京事務局長兼務)

『2018年度三国丘 SC の活動補足』

1. 現役の活動結果：

(1) 高円宮杯 U-18 (通年でのゲーム)

※2017年度の戦績で、3部から4部の地域ブロックに降格、

★2018年度前期4部南大阪ブロック、Eグループ(8チーム)でスタート、
結果：6勝1敗 Eグループ 1位となり、後期は昇格かけた上位グループへ
(同グループには、清明学院B、東大谷、精華がいて、東大谷に0-2で敗戦)

★後期リーグ：後期上位リーグ(前期2グループ4位以上のチームで構成)：

南大阪ブロック Bグループ(10チーム)に所属

(清明学院B、大体大浪商B、精華、羽衣学園、泉陽ほかが同グループ)

結果：春季大会終了後も残ってくれた3年生7名の健闘があり、

5勝2分2敗(勝ち点17)、第2位で、昇格プレーオフに進出。

(1位は自動昇格) ※泉陽高校とは川淵杯後に対戦し、1-0で勝利。

★プレーオフ(10月13日(土) Vs. 八尾翠翔高校

0-0 PK4-3で勝利し、1年で3部への昇格を果たしました。

(選手権予選、4回戦での勝利後で勢いがありましたが、3年生FW、MFと
得点源の2枚が4回戦での怪我で欠場、攻撃力、怖さが半減。技術的、実力的に
下のチームに、0-0と引分けたがPKになり、相手校の1番手、2番手が連続失敗、
三国丘も3人目失敗しましたが、4人目が成功し昇格を勝ち取った。)

(2) 大阪高校春季大会(インターハイ予選)

1回戦不戦勝、

2回戦 Vs. 豊中高校 1(0-0, 1-0)0

(激しい雨の中、悪コンディションの土のGでの試合、押し気味に試合進めるが得点
できず。後半終盤でFW井原君(長身・瞬足FW)が決めて膠着状態から抜けだし、
勝利)

3回戦 Vs. 大冠高校(シード校：公立) 1-1 PK 4-3

(1点先行されましたが、後半追付き、守り切って引分け、PK戦に、
1人目が外して失敗するも、相手校も失敗、5人目を止めて勝利)

4回戦 Vs. 北千里高校 0-0 PK 4-5

(北大阪の強豪公立校との対戦、決定機を迎えるも決めきれず一進一退で引分け、
PK戦、3回戦に続けて1人目が、失敗。相手校失敗せず、敗退)
北千里高校は、5回戦で東大阪柏原高校に敗退(0-1：ベスト32)

(3) 大阪総体 兼 選手権大阪予選

1回戦： Vs. 清水谷高校 3-0

2回戦： Vs. 天王寺高校 1-0

3回戦： Vs. 夕陽丘高校 1-0 2次予選へ(ベスト64(54))

(春季大会2回戦と同じ、雨中で土のグラウンド、最悪のコンディションの試合、
既に、3年生の大半が引退し、選手6名+主務1名が残っての新チームで戦
っています。3年生6名はまだ重要なポジション(CF, CB、ボランチ)にいますが、
ゲームメーカーはじめ2年、1年も頑張り、良いバランスでのゲームを展開。

前半終了間際でFW個人技で得点。後半も守り切って勝利しました。)

4回戦： VS. 常翔学園 0-0 PK戦 4-3 (ベスト32)

(力は互角? 双方とも決定的なチャンスはなし。後半途中で、俊足FWの井原
君が負傷し交代。三国丘のカウンターの怖さが半減、相手の攻撃を凌ぎ
切って、引分けで終了。PK戦、3人目外したが、4-3で勝利)

5回戦： VS. 帝塚山泉ヶ丘(シード校) 1-1 PK戦、2-4で敗退

(4(?)年前に、人工芝Gが竣工後、またセレクションでの強化を進め、
シード校の2番手グループで安定してきている。4回戦での負傷者2名の内、

1名欠場、1名（3年井原君）出場するも、70%程度の回復度。前半から押され気味に進むが、カウンターでチャンスも作る。25分過ぎにFKから失点（3回戦でのセットプレーで危険なケースもあり、アドバイスしたが）。

前半は（0-1）。後半も受けに回りながら進むが、10分過ぎにカウンターから、右からのセンタリング。これを明石君（3年）が素晴らしいボレーキックで決め同点。

その後も双方に決定的なチャンスが生まれるが相手GKのファインセーブがあり得点が生まれず。後半終盤は三国丘の方が決定的チャンスを作っていたが、GKに阻まれた。非常に惜しい試合であった。

PK戦は、双方1人目、2人目が決め、三国丘の3人目止められ、4人目がバーに当て失敗。敗退しました。）

残った3年生7名の頑張り（昨年は2名のみ）、新戦力とのバランスもよく楽しく試合をしていたのが、印象に残りました。試合毎に選手が成長、自信を持って楽しんで試合に臨んでいるのがわかりました。この11月から新チームに移行しますが、総体トーナメント及び、プレーオフ通して、良い経験が積めたとおもいます。新チームに期待です。

（年内の新チームの戦い；泉北カップ、天理カップでの11戦は未勝利におわりました）

- 選手権大阪予選は、2年続けてベスト32になりました。昨年来の現役支援の効果も出ていると思われます。100周年記念でのオレンジ色のユニホームも活躍してくれています。勿論、顧問の長井先生の指導があつての戦績です。

なお、大阪予選、今年度ベスト16には公立校は大阪市立桜宮高校1校（6回戦敗退）のみ、昨年度も摂津高校のみ、春季大会には2年連続で公立高校は入っていません。**3年生引退後の戦力ダウンを如何に抑え、毎年のチームレベルを高くキープしていくことが引き続きの課題になります。**

- 今年のチームは、人工芝での練習機会の増加と、大学生チーム（府大B）との練習試合、また練習への参加を行いました。効果はあつたのではないかと思います。文武両道を前提に前述の取組を継続することが肝要です。**PK練習必須です。**

『OBの活動（全国大会出場）』

1. シニアメンバー：

- ① JFA 第12回 O-70サッカーオープン大会出場：田守会長(17回)（兵庫県代表として）
- ② ねんりんピック富山大会：高橋（20回）、畑（22回）、阪口（23回）（堺市代表）
- ③ 法曹界の全国大会に、小津さん（45回）が会場

以 上

第2号議案

2018年度三国丘サッカークラブ一般会計決算報告(18/4～19/3)

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	101,561	川淵杯グラウンド代他	13,760
年会費	285,000	記念品(川淵杯)	44,850
寄付金	21,000	天王寺高校交流戦グラウンド代	18,000
サッカーニュース広告	50,000	リーグ加盟関係費	70,000
Tシャツ、ユニホーム売却		三丘体育会費	25,000
記念誌販売		スポーツ保険	24,050
体育会ゴルフ		堺ユースサッカーフェスティバル協賛金	10,000
		会議室借料	14,400
		サッカークラブ通信、送料、事務費	130,627
		印刷費	10,225
		交通費	2,000
		慶弔見舞い	4,924
		手数料(郵便払込)	8,176
		次期繰越金	81,549
合計	457,561	合計	457,561

2018年度三国丘サッカークラブ現役強化基金決算報告(18/4～19/3)

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	1,381,282	現役活動補助	100,000
寄付金	680,000	Jグリーン使用料	177,864
		次期繰越金	1,783,418
合計	2,061,282	合計	2,061,282

<寄付者>

有限会社川淵企画(川淵三郎)30口
 田守恵幸(16)
 嶋田誠(14) 2口
 北山恭三(17)
 金正富雄(20) 2口
 種田裕一(21)
 保里均(29)
 石原嘉孝(12) 2口
 前仲邦哉(12)
 田中真人(27)
 松野良一(18)
 近藤博行(33)
 近藤知子(33)
 隅井淳一(29) 3口
 大賀龍一(9)
 松田圭司(4)
 古谷隆昭(25)

二宮滋典(9) 3口
 西角光司(28)
 土岐智之(16)
 高田篤(34)
 藤本幸博(35)
 永重隆司(12)
 川口清一(19)
 竹ノ上蔵造 2口
 吉田剛(41)
 吉田仁(38)
 大西宏(4)
 池上信紘(10)
 藤井武夫(10)
 小孫英樹(21)

(順不同)

上記2018年度の決算報告の監査を行いましたところ、適正な処理と認め承認します。

監事 川口清一



第3号議案

三国丘サッカークラブ 新体制案

- 名誉会長：川淵 三郎 (7回)
- 相談役：田守 恵幸 (16回) (前会長)
- 相談役：野村 憲司 (4回) (前々会長)
- 相談役：藤井 武夫 (10回)
- 相談役：嶋田 誠 (14回)
- 相談役：小孫 英樹 (21回) (三丘体育会副会長)
- 会長：畑 拓興 (22回)
- 副会長：阪口 香月 (23回)
- 事務局長：種田 裕一 (21回) (兼 書記)
- 会計：棚橋 敬 (24回) (三丘体育会理事)
- 幹事：谷和 敏之 (25回)
- 幹事：中川 義博 (27回) (三丘同窓会事務局長)
- 幹事：米田 和威 (27回) (三丘サッカー東京会長)
- 幹事：西角 光司 (28回)
- 幹事：保里 均 (29回)
- 幹事：吉田 仁 (38回) (三丘サッカー東京幹事長)
- 幹事：五味 稔幸 (39回)
- 幹事：森岡 久美子 (43回) (サッカークラブ通信担当)
- 幹事：山内 裕次 (46回) (三丘サッカー東京事務局長)
- 幹事：立川 新た (50回) (三国丘サッカークラブ監督)
- 監事：川口 清一 (19回)

以 上

『方針』

◎1. 創部100周年記念事業プロジェクトの宿題遂行に向けOBの力を結集(3年目)

1-1. 100周年記念事業「現役強化基金」の実運用プロジェクトの実践(現役強化)

2. 三国丘サッカークラブの中長期活動指針案の作成:プロジェクト委員会設置

2-1. 現役チームの強化策の長期計画の企画・立案

(三丘サッカー東京幹部との意見交換の場増やし、建設的意見の取り纏め目指す)

★主な事業内容(主要行事);

1. 2019年度三国丘SC総会の開催;5月25日(三丘同窓会館2階)開催

2. 2019年初蹴り及び懇親会:1月2日:10:00~15:00 開催(終了)

3. 会員相互交流活性化活動と定着化への取組(若返りと継続組織への強化を図る)

※①学年幹事と同学年間再交流の促進支援と、学年幹事と役員間交流の促進継続

②サッカー部OB会ゴルフコンペの開催(最低1回/年)---※H29,30年度未実施

③現役保護者会との連携強化で、現役強化に向けた支援強化を図る

★現役・保護者会・顧問(指導陣)・OB会が一同に会する激励会・懇親会開催提案

4. 泉陽高校との定期戦(第26回川淵杯)(今年度は泉陽高校主催で準備)

※8月11日(日・山の日)15-19時、J-GREEN 堺での開催で準備中(新トロフィ準備調整)

5. 天王寺高校サッカー部現役・OB定期交流戦開催(双方主催)

*平成30年度OB戦は、3月3日実施、現役戦(有志)、若手OB戦、OB戦実施。

6. OBチーム:三国丘サッカークラブの支援

課題整理し、体制の見直し強化、純正化、若返りを図り、1部上位定着を図る

堺社会人リーグでの活動強化(<http://www.sakai-su.net/>)

7. 三丘体育会行事への参加(他クラブとの親睦、交流ほか)

①三丘体育会ゴルフコンペ;2019年5月16日(木)堺CCで開催、参加(卓球部主催)

②三丘体育会運動会への参加(10月27日(日)開催決定)

8. 三国丘サッカークラブのHPの活用充実化を図る(継続課題) <https://mikunifc.jimdo.com/>

9. 三国丘サッカークラブ通信の継続発行(2回/年、※6月、12月の2回発行予定)

10. 三丘サッカー東京の主要活動への参画

①三丘サッカー東京総会(第12回):11月最終金曜日にJFAで開催予定

②シニア交流試合(不定期;天王寺高校OB会、京大OB会(男組)ほか)

11. 2020年初蹴り及び懇親会の開催(2020年1月2日)---会則に適合させ年度補正

12. 今後の検討課題:

i) 幹事会新体制見直し、若返り化と、三国丘SC会則の適宜最新化を図る

以 上

第5号議案

2019年度三国丘サッカークラブ一般会計予算案(19/4～20/3)

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	81,549	川淵杯グラウンド代他	20,000
年会費	300,000	天王寺高校交流戦グラウンド代	20,000
寄付金	30,000	初蹴り会費用	15,000
サッカー通信広告料	50,000	リーグ加盟関係費	120,000
		三丘体育会費	25,000
		堺ユースサッカーフェスティバル協賛金	10,000
		会議室借料	15,000
		サッカークラブ通信、送料、事務費	150,000
		印刷費	30,000
		交通費	30,000
		慶弔見舞い	15,000
		手数料(郵便払込)	10,000
		次年度繰越金(予備費)	1,549
合 計	461,549	合 計	461,549

2019年度三国丘サッカークラブ現役強化基金予算案(19/4～20/3)

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	1,783,418	現役活動補助	100,000
寄付金	350,000	Jグリーン利用料	300,000
		次期繰越金	1,733,418
合 計	2,133,418	合 計	2,133,418

以上